

平成23年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、中央図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名： 中央図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価（%は外部評価者の割合）	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス（調査・相談）サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・平成22年度にホームページ内のメールフォームを整備し、平成23年4月からメールによるレファレンスの受付を開始した。メールによるレファレンス依頼件数は48件（メールフォーム使用13件）あった。 ・レファレンス件数は4,058件で、前年度（4,124件）より約2%減であった。 ・パスファインダー（テーマ別調べ方案内）を8テーマ作成し、ホームページや館内で提供した。 ・レファレンス事例を紹介する「レファレンス通信」を年3回発行した。	・Eメールによるレファレンス受付を開始したことにより、申込方法の選択肢を広げ、迅速に情報提供ができるようになった。 ・特定テーマの資料や情報の調べ方・探し方を案内する「パスファインダー」や身近な事例を紹介した「レファレンス通信」を発行することで、生活課題の解決に図書館が役立つことを知ってもらうことができた。	1 大変評価する。40% 2 ある程度評価する。60% 3 評価できない。0%	・「パスファインダー」は学生やサラリーマンの役に立てる。 ・レファレンスの対応について、具体例をあげてほしい。
	◆館の重点評価項目 くらしの情報支援サービスの実施	・「くらしの情報支援サービス」として、専門機関や関係機関と連携し、身近な暮らしの課題解決に役立つ相談会や講座を実施する。	・「くらしの情報講座」を2回開催した。1回目は11月に法テラス新潟と連携して、身近な法律についての講座を実施し、21人の参加があった。2回目は自殺防止強化月間である3月に新潟市こころの健康センターいのちの支援室と連携して、メンタルヘルスについての講座を実施し、27人の参加があった。	・アンケートの結果、各回の講座参加者の満足度は概ね高かった。特にメンタルヘルスについての講座は申し込みが多く、需要の高い内容であることがわかった。 ・講座の開催に合わせて1階くらしのコーナーに「くらしの情報コーナー」を設置し、関連するパンフレットを置いたところ、手に取る利用者が多く、身近な課題解決に役立ててもらったことができた。	1 大変評価する。30% 2 ある程度評価する。70% 3 評価できない。0%	・講座の開催告知に力を入れる。 ・講座を図書資料の活用に繋げてほしい。 ・他の専門機関との連携も検討してほしい。 ・常に住民の生活や要望にアンテナを張っていただきたい。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に中央図書館所在地域の資料収集に努める。	・特別コレクション展示を4回実施した。 「夭折の画家金子孝信と蒲原神社」展（H23.4.7～8.2） 「新潟の妖怪～身近にいた妖怪たち」展（8.4～10.4） 「會津ハル歌碑をめぐる」(H23.11.2～H24.1.31) 「昔と今の教科書めぐり」(H24.2.2～5.1) ・展示に使用できる郷土資料を調査し、未所蔵のものを補充した。 ・自費出版等の情報を積極的に収集して、寄贈を依頼し受け入れた。	・「夭折の画家金子孝信と蒲原神社」展では、地域連携事業として実施し、東地区公民館や地元の地域研究グループとの協力体制を整えることができた。 ・新潟市美術館や會津ハル記念館から協力を得て、資料を借りて、充実した内容の展示を実施することができた。 ・展示を機に郷土資料の充実をはかることができた。 ・寄贈資料の受け入れにより、郷土資料コーナーを充実させることができた。	1 大変評価する。80% 2 ある程度評価する。20% 3 評価できない。0%	・地域資料をどうやって紹介していくかが課題。また、統一したイベントの実施も考えてほしい。 ・良い企画だと思う。 ・今後、「女中」「女工」「芸妓」などに関する展示を期待する。
	◆館の重点評価項目 地域資料を活用した事業の実施	・地域資料を活用した講演や展示を行い、地域資料への関心と利用拡大を図る。	・特別コレクション展示と関連させ、地域連携事業の講演とまち歩き「沼垂の若き戦没画家金子孝信と蒲原神社」を実施した。 ・市民と共催で「詩誌『新年』と市島三千雄の時代展」(9.15～9.20)とシンポジウムの開催に協力した。 ・夏休み事業として、「新潟の妖怪～かわいい妖怪、怖い妖怪」講演会（講師：高橋郁丸さん・おはなし：成田久美子さん）を実施した。	・金子孝信の原画を見せたい機会を得て、魅力ある講演会とまち歩きを実施でき、アンケートでは満足度の高い評価を得ることができた。 ・共催展示では、図書館所蔵以外の貴重な資料を多く展示し、来場者からも興味を持ってもらうことができた。 ・「新潟の妖怪」をキーワードとした夏休み事業「妖怪フェスティバル」の一環として、講演会を実施。妖怪の原画のスライドとわかりやすい解説に、怖い昔話の語りを加え、大人も子どもも楽しめる内容とすることができた。	1 大変評価する。90% 2 ある程度評価する。10% 3 評価できない。0%	・「妖怪」をキーワードに、地域に親しめるイベントの実施は良いと思う。 ・郷土の文化を更に伝えてほしい。 ・あまり知られていない人物に焦点を当てた良い企画。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	・中央図書館が所管する4区（東区・中央区・江南区・西区）では、4,280人にブックスタートを実施した。実施率は92%であった。	・実施初年度だったが、関係各課・ボランティア等の協力により、順調に運営することができた。 ・平成23年冬に実施したアンケートで、ブックスタート参加者の約9割がブックスタートを受けてよかったと回答し、約6割が絵本を読んであげる機会が増えたと回答した。ブックスタート事業の効果があったと思われる。一方、ブックスタートが図書館利用につながったという回答は2割にとどまった。 ・対象者の約9割に実施することができたが、1歳誕生歯科健診を受診しない対象者への対応が今後の課題である。	1 大変評価する。70% 2 ある程度評価する。30% 3 評価できない。0%	・将来、児童・生徒の読書活動の増加に繋がる施策・工夫を考えてほしい。 ・健診を受診しない子には郵送してはどうか。 ・良い企画だ。期待している。
	◆館の重点評価項目 学校図書館支援センター事業	・中央図書館に学校図書館支援センターを新規に設置し、江南区・東区・中央区の小中学校68校を担当し学校図書館を支援する。 ・4つの支援センターを取りまとめ、合同会議の開催などを通して支援センター間の調整と連携を図る。	・学校図書館訪問を江南区の学校と学校司書新規採用者勤務校を中心に行い現状把握に努め（延べ60回）、学校司書実務研修会を8回開催した。 ・4つの支援センターの合同会議と担当者会議を各4回開催。会議を通して取組について情報共有ができ、次年度に向けた課題を共有化した。 ・4支援センターが協力して「学校図書館電算化事例集」の作成や「学校図書館支援用図書セット」の選書を行った。	・「学校図書館電算化事例集」や「学校図書館支援用図書セット」を通し、関係課との連携を深めることができた。 ・支援センター全体としての取組と各支援センターの取組を整理し、平成24年度に取り組む事業を明確にすることができた。	1 大変評価する。60% 2 ある程度評価する。40% 3 評価できない。0%	・来年度へ活かせる取組でとても良い。 ・市の学校図書館全体がレベルアップする取組だ。 ・学校図書館の電算化にもっとサポートがほしかった。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するため、ボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・先天性四肢障害児父母の会、読み聞かせボランティア、敬和学園高校、FM-PORT等様々な団体と協働した展示会や講演会・講座などの事業を36回実施した。	・昨年度に引き続いて実施した団体のほか、新規で6団体と共催事業を実施し、市民と中央図書館との協働について拡大した。また、市内16の所属と連携した展示を行うなど、市の事業についても情報を発信した。	1 大変評価する。60% 2 ある程度評価する。40% 3 評価できない。0%	・共催でより大きなことができた。 ・くらしの情報支援サービスと関連づけ、強化してほしい。 ・新しい図書館の魅力として発信してほしい。
	◆館の重点評価項目 図書館協議会合同情報交換会の開催	・5つの図書館協議会の全委員に意見交換をしていただき、図書館の事業についての理解と関心を深めていただくとともに話し合われた内容を、図書館の運営に活かす。	・11月18日（金）午後2時から中央図書館3階ビーンズホールにて「平成23年度新潟市図書館協議会合同情報交換会」を実施し、中央・豊栄・新津・白根・西川図書館協議会35名の委員が参加した。内容は薬袋秀樹氏（筑波大学大学院教授）の基調講演と分散会（テーマ：図書館評価を行って・基調講演を聞いて）を行った。	・平成22年度から実施した合同情報交換会は2回目の実施である。全図書館協議会委員49名中35名が参加（参加率72%）した。 ・基調講演は「これからの図書館の在り方」というテーマで、読書の意義から図書館サービスの改革といった様々な課題についてわかりやすくお話しいただき、適切な講師依頼ができたと考えている。分散会は各班ごとに活発な意見が交わされた。他の協議会委員との情報交換を行う中で、今後の図書館と図書館協議会の活動に活かしていく。	1 大変評価する。30% 2 ある程度評価する。70% 3 評価できない。0%	・意見交換の場として拡充してほしい。 ・講演と分散会両方の実施は、時間がかかりすぎる。